

東アジア文化都市2023静岡県の総括

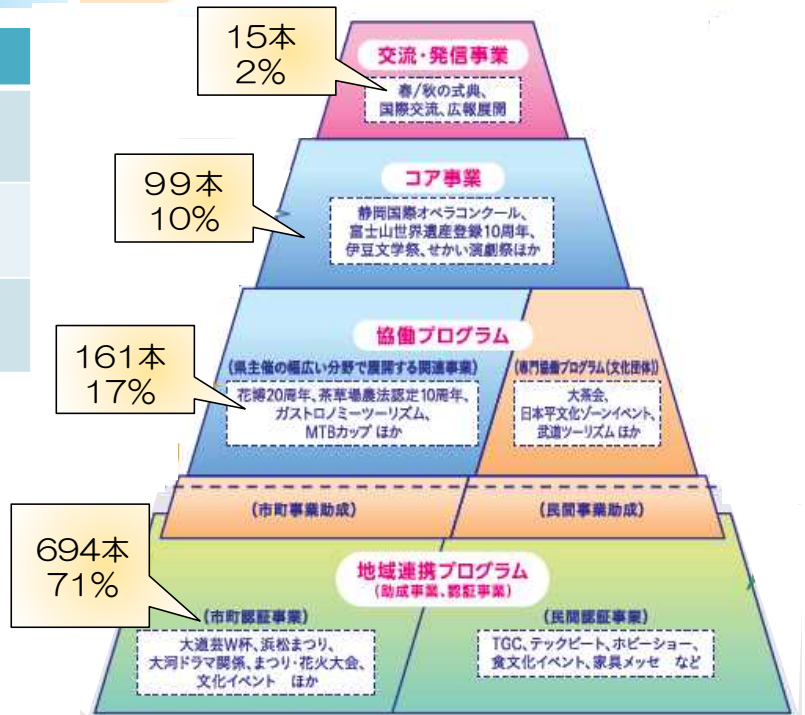
1 実績 (12月28日集計まで、最終は1月末確定)

目標数値	進捗状況
①事業数 500本以上	認証事業数 969本
②来場者数 360万人以上	1,033万人 (終了事業概算)
③経済効果 100億円以上	232億円 (12月速報値)

【分析】

- ・県事業は、ほぼ当初計画通り
- ・事業数は、全体の7割を超える市町、民間団体の参画が大きく貢献。
- ・来場者数は、アフターコロナでビッグイベント復活の実績が大きく貢献
- ・経済効果は、その2つの相乗効果。

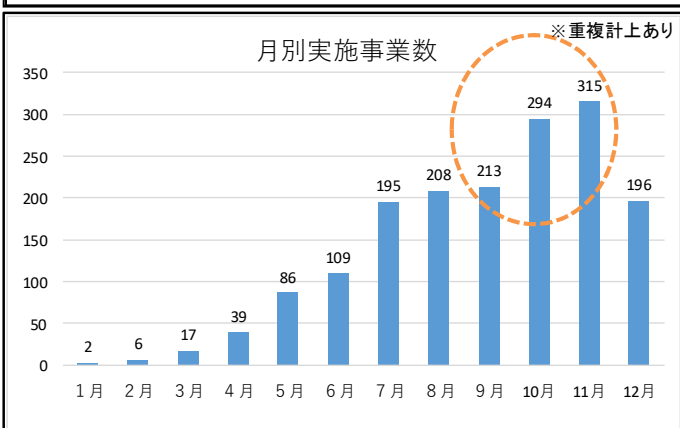
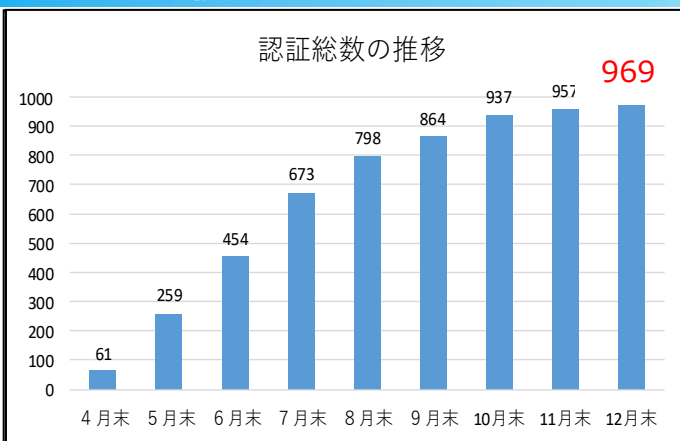
東アジア文化都市2023静岡県 事業全体像図



富国有徳の美しい“ふじのくに” 静岡県



2 件数実績



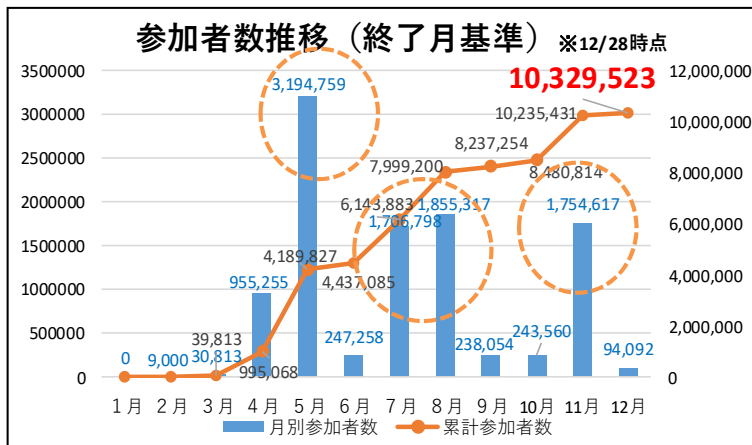
【分析】

- ・件数の推移のとおり、3月までは既存事業のみとなった。
- ・一気に夏に認証が伸びたのは、4月開始の年度会計の影響であるが、コロナ禍の収束効果が後押しした。
- ・月別実施件数では、9～11月に半分が集中しコア期間の時期は成功であった。
- ・静岡県の「文化の秋」のイベント集中度が証明された。

富国有徳の美しい“ふじのくに” 静岡県

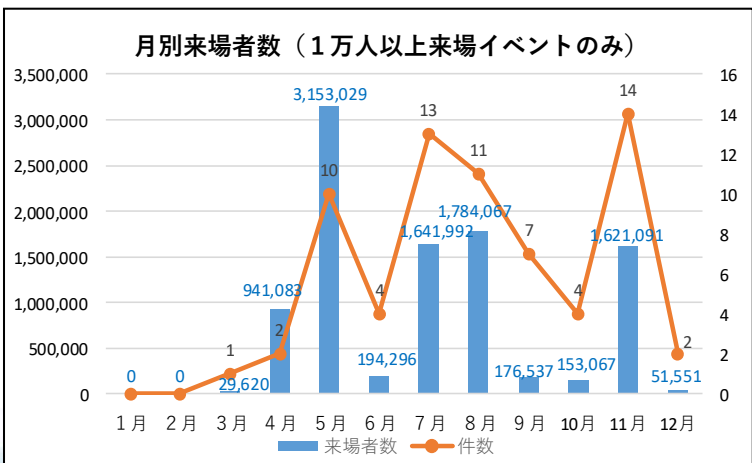


3 参加者数



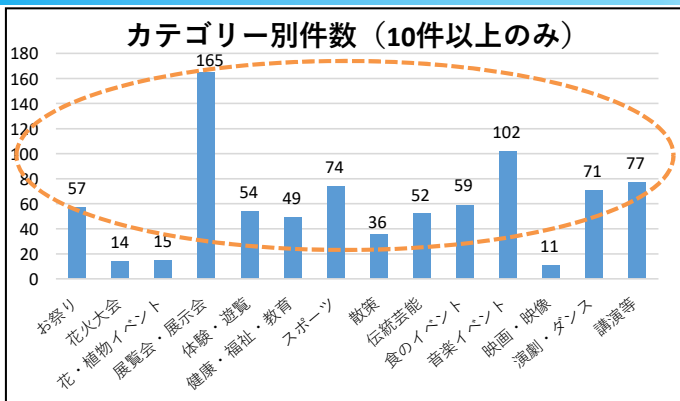
【分析】

- ・参加人数の伸びは、静岡まつり、浜松まつりの完全復活が大きく影響し、その後、5月の**コロナ規制緩和**が後押しした。
- ・夏の花火大会、夏祭り、秋の大道芸W杯が、さらに勢いを付けた。
- ・9～11月のコア期間は、件数が半分を占めているが、地域の小中規模の文化事業が多かったことが分かる。
- ・静岡県の「**文化の秋**」は、**地域密着の多彩な文化活動**で成り立っている。



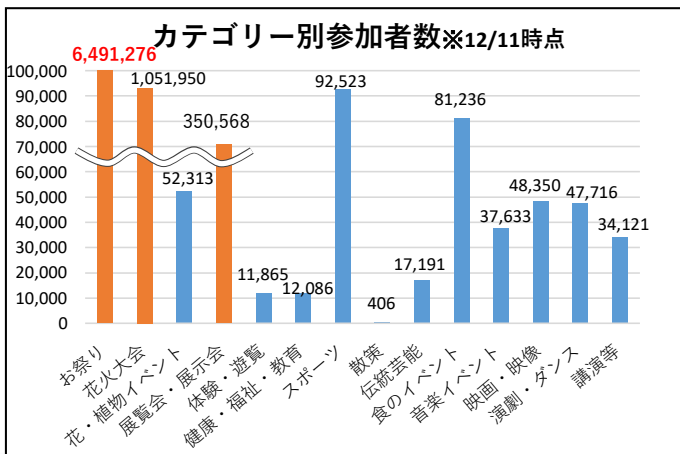
静岡県

4 分野別の件数と参加者数



【分析】

- ・展示会、音楽会が主流だが、スポーツや食も多く、**本県の文化資源の多彩なポテンシャルが証明**できた。
- ・お祭り、花火大会の集客力は群を抜いているが、件数は少ない。静岡県では、多彩な文化を楽しめることを証明できた。



5 静岡県と中韓都市との交流

【全州市】・式典ほか相互交流を多数展開

（全州市で）

高校生伝統祭、青年フォーラム、無形遺産公演、書道展、紙文化、食文化、文化芸術フェス、未来交流都市フォーラム

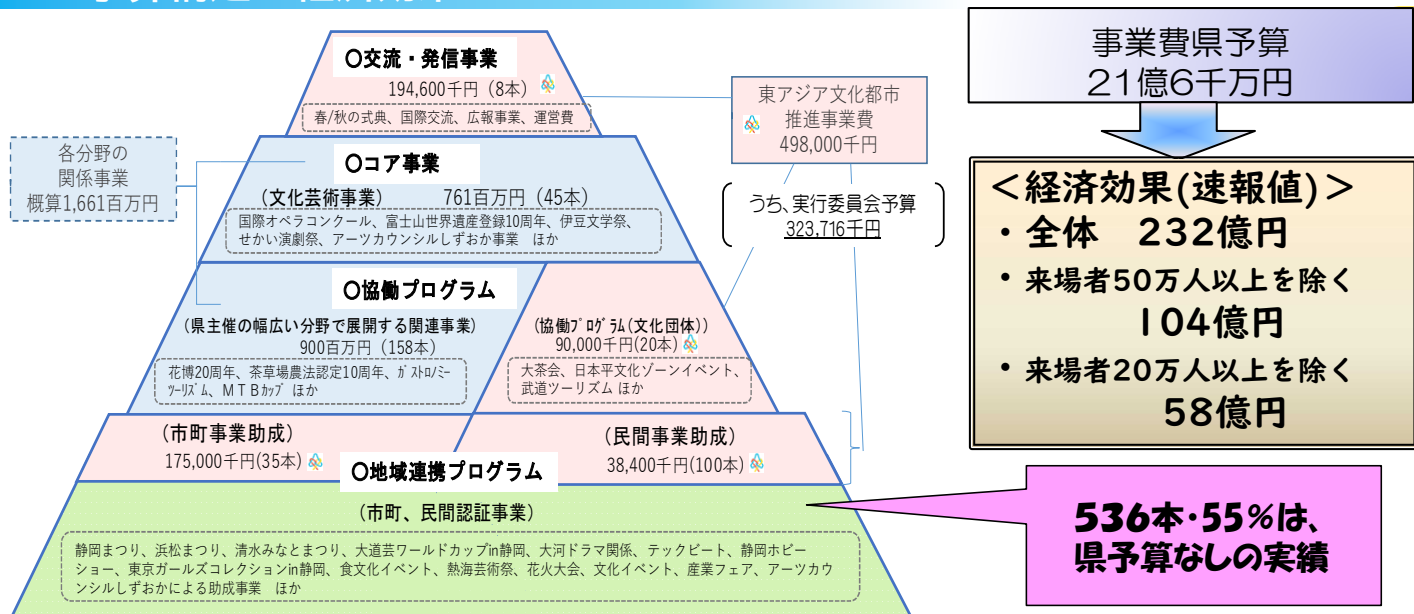
（静岡県内で）

高校生訪問、書道展、U15サッカー大会、学生フォーラム、グローバルシンポ、大道芸W杯、工芸展、合唱コンクール、全州市長表敬（静岡市と覚書）

【梅州市】式典、サッカー大会指導者招聘

【成都市】学生フォーラム、図書館シンポ

6 予算構造と経済効果



- ・ピンク部分は2023年文化都市新規予算であり、助成制度により、**各地域で新規事業が100本以上生み出された。**
- ・青部分は、県主催事業の集約。3分の2以上は既存事業であるが、国際オペラ、富士山10周年、伊豆文学祭、MTBカップ、カストロミーイベントなど新規事業も多く見られた。緑部分の536本には県費なしの実績である。
- ・事業本数、来場者数の好調により、経済効果は大きく想定を上回った。

富国有徳の美しい“ふじのくに”

静岡県

5

7 成果のポイント

【作戦】

【成果】

- ◆ 4階層のプラットフォーム、助成制度の効果 ▶▶▶▶ 市町・民間参画で祝祭化
- ◆ 文化を広く捉えた ▶▶▶▶ 本県の魅力を最大限に発信し、成果を拡大
- ◆ タイミング効果 ▶▶▶▶ 2023年はアフターコロナの復興気流に乗り、気運上昇
- ◆ 全州市と積極交流 ▶▶▶▶ 食、伝統文化が共通し、深い友好が実現

成功の大きな鍵は、文化を愛する心だった！

- ◆ 民間へ積極的に協力要請 ▶▶▶▶ 皆が静岡愛と誇りで参画してくれた
- ◆ 専任5人の事務局で成果 ▶▶▶▶ 実行責任を分散、明確化し省力化
- ◆ 営業戦略 ▶▶▶▶ 対面での営業、地域局と市町・民間の連携が機能

富国有徳の美しい“ふじのくに”

静岡県

6

8 東アジア文化都市で得たこと

【東アジア文化都市未来宣言文(12月23日シンポジウム内)】

- ・私たちは、各地域の多彩な文化をあらためて体験し、ふるさと**静岡県の文化の豊かさを実感**することができました。
- ・僕たちは、芸術の力で、**アフターコロナ時代の扉を開き**、海外の人々とのふれ合いや交流を復活させることができました。
- ・私たちは、東アジア文化都市との文化交流により、お互いの理解を進め、**中国、韓国との親しい関係を創り出す**ことができました。
- ・僕たちは、サッカーや産業など、ふるさと静岡県の**多くの特色ある文化を、国内や海外に発信し、アピール**することができました。
- ・私たちは、東アジア文化都市のブランドにより、観光やインバウンドの魅力にあふれ、**国内外から人々が訪れたいくなる「ふじのくに」を創造**できました。

そして、静岡県は、2023年の成果を生かし、2024年以降も、東アジア文化都市開催都市として、持続可能で文化があふれる豊かな都市として、発展を続けて行くことを宣言します。

◆国内外に静岡県の文化力を証明できた！

富国有徳の美しい“ふじのくに”

静岡県



7

9 さいごに

頭を使って、じっくり考えるのもいいが、身体を使って動いてみる。動くことの効果は大きい。

【事務局の座右の銘】

動中の工夫は、静中に勝ること
百千億倍す(白隠禅師)



皆様のご支援、ご協力、本当にありがとうございました。

富国有徳の美しい“ふじのくに”

静岡県



8